

令和5年度

病院事業 企画経営課の方針書

組織名	病院事業 企画経営課
所属長名	課長 武田 肇

1. 組織の使命(ありたい姿)

地域の人々に信頼される市立病院を目指し、両病院が協力し安心できる良質な医療の提供に努める。

2. 組織の抱える課題(現状)

- ・公立病院経営強化プランの作成及び地域医療構想への対応
- ・低コスト運営による健全な病院経営を目指しているが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり収支改善に至っていない
- ・スタッフの人事交流について医療機能の違いから患者層や給与・勤務形態(看護師は横手が3交代、大森が2交代など)等が違うことから、進展していない。両院共同での採用試験も案としてはあるが進展していない。

3. 今年度の『スローガン』

病院事業が一体となり、良質な医療の提供に努めよう

4. 今年度の方針

- ・公立病院経営強化プランの策定
- ・健全経営及び人事交流等の検討

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	公立病院経営強化プランの策定
	取組内容	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い延期されていた、国による「公立病院経営強化ガイドライン」が示され、それに基づく「中長期計画(経営強化プラン)」の策定について、民間病院を含む地域医療構想の情報収集に努め、両院の特徴を生かし地域における持続可能な医療を提供していくためのプランを策定する
(2)	実現したい成果	健全経営及び人事交流等の検討
	取組内容	・新型コロナウイルス感染症の位置づけ変更後の業務体制の検討を行い収益確保に努める ・共同購入で低コスト化が図れる資材の検討を継続し、可能なものから共同購入を目指す ・企画経営会議の開催と取組みのための検討会等を開催する ・奨学金の貸与学生の募集や研修会を合同で開催する ・両院の人事交流に向けて各職種間の交流や、両院間での短期職場派遣等の検討を行う
(3)	実現したい成果	
	取組内容	

6. 方針に対する年度上期(4月～9月)の取組状況

- ・公立病院経営強化プラン策定に向け、総務省の経営財務強化マネジメント事業により派遣される経営アドバイザーである八幡平市立病院統括院長を講師に両院合同研修を9月29日に実施
- ・企画経営課会議を開催し両院での資材等共同購入等について協議
- ・両院の人事交流に向け、共同での採用試験実施について検討

7. 年度下期(10月～3月)に向けた課題と取組方針【ギャップと対策】

- ・公立病院経営強化プランを今年度中に策定する
- ・資材等の共同購入については、A重油を共同で購入しているが、その他の資材についても共同購入に向け検討を継続する
- ・両院の人事交流に向けて両院共同での採用試験実施に向け検討を継続する

8. 総括(取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】)

(1)公立病院経営強化プランの策定

- ・策定した横手市病院事業経営強化プランを推進するとともに、新たな二次医療圏における横手病院、大森病院の役割、適正な病院機能を検討し持続可能な医療提供体制を構築していく。

(2)健全経営及び人事交流等の検討

- ・新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置付けが5類となったものの、未だ患者数も多く、院内感染防止への対策が必要であるが、国県からの補助金等も減少しコロナ対策は病院経営を圧迫している。現在、赤字経営である横手病院、大森病院とも横手市病院事業経営強化プランを推進し令和9年度の黒字化に向け収支改善に努める。
- ・経費削減のため病院事業での資材等共同購入を引き続き行う。